

武田薬品が20/3期業績予想を公表—想定範囲内であり、格付を見直す必要はない

以下は、武田薬品工業株式会社（証券コード：4502）が公表した20/3期業績予想についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 5月14日、当社は20/3期業績予想を公表した。19年1月に買収したシャイアー社の業績が通期で寄与することにより、売上高は3兆3千億円（対前年57.4%増）に増加し、実質的な収益力も強化される見通しである。一方、営業損益は1,930億円の赤字、最終損益は3,830億円の赤字を見込んでいる。同社の買収に伴い、統合費用1,540億円、棚卸資産の公正価値調整2,530億円などを計上するためである。なお、19年3月末の資本合計は約5.2兆円、のれんと無形資産は計約9.0兆円となった。19/3期の調整後EBITDAは約1.0兆円、純有利子負債/調整後EBITDA倍率は4.7倍（いずれも試算ベース）となっている。
- (2) シャイアー社の買収により当社の実質的なキャッシュフロー創出力は向上している。近年発売した潰瘍性大腸炎治療剤や遺伝性血管性浮腫治療薬などが業績を支えていく見通しである。営業損益と最終損益は多額の赤字となる予想だが、一時的な費用計上が主因であり、21/3期以降の利益水準は回復に向かうと考えられる。また、中期的なシャイアー社とのコストシナジーは、買収時の14億ドルから約20億ドルに拡大する見通しが示された。これらは全体として従来のJCRの想定範囲内にあり、現時点で格付を見直す必要はないと判断している。同社との統合の進展に注意を払いつつ、主力製品の販売状況と剤形追加や適応拡大の進捗、コストシナジーの発現やノンコア資産の売却に向けた取り組みなどに注目していく。

（担当）本西 明久・佐藤 洋介

【参考】

発行体：武田薬品工業株式会社

長期発行体格付：A+

見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル